

報道資料

令和3年5月7日(金)

福祉医療部 医療政策局 疾病対策課 担当:尾上・増井
報道機関専用電話:0742-27-8722(ダイヤルイン)内線:3220、3132
一般相談電話:0742-27-8561
福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:大西・安川
電話:0742-27-8935(ダイヤルイン)内線:3110、3109
総務部知事公室 防災統括室 担当:中野・小原
電話:0742-27-7006(ダイヤルイン)内線:2270、2285

新型コロナウイルス感染者の状況について

奈良県において新型コロナウイルス感染症の感染者が、98例(県内感染者6646～6743例目、うち奈良市発表事例 26例)が発生しました。現在、濃厚接触者の把握を含めた積極的な疫学調査を確実に行ってまいります。

- ・他府県発表との重複 : 204 例 (前日比+1)
- ・感染者数累計除外分 : 97 例 (前日比+1)
※県内で検査及び発生届を受理したが、県外で入院・入所している場合は、県内感染者数に計上していません。
- ・死亡 : 86 例 (前日比+4) ・再陽性 : 7 例

1)入院病床及び宿泊療養室等の状況(午前9時時点)

※担当:地域医療連携課

重症対応病床	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
運用病床	32	28	-1	4	88%
確保病床	32	28	-1	4	88%

運用病床 病院別内訳	病床数 (床) A	使用病床数 (床) B	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) A-B	占有率 (%) B/A
奈良県立医科大学 附属病院	14	13	±0	1	93%
奈良県総合 医療センター	6	6	±0	0	100%
民間病院 B	4	4	±0	0	100%
南奈良総合 医療センター	2	1	-1	1	50%
奈良県西和 医療センター	2	2	±0	0	100%
市立奈良病院	2	0	±0	2	0%
大和高田市立病院	2	2	±0	0	100%
計	32	28	-1	4	88%

入院病床	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
運用病床	398	284	-8	114	71%
確保病床	398	284	-8	114	71%

※ 重症対応病床を含む

運用病床 病院別内訳	病床数 (床) C	使用病床数 (床) D	対前日 (使用病床数) (床)	空き病床数 (床) C-D	占有率 (%) D/C
奈良県立医科大学 附属病院	80	58	+5	22	73%
奈良県総合 医療センター	74	57	-5	17	77%
南奈良総合 医療センター	40	32	-2	8	80%
奈良県西和 医療センター	37	27	-1	10	73%
市立奈良病院	34	24	+1	10	71%
(独)国立病院機構 奈良医療センター	34	15	-5	19	44%
生駒市立病院	16	13	-2	3	81%
済生会中和病院	15	10	+1	5	67%
大和高田市立病院	12	9	±0	3	75%
(独)地域医療機能推進機構 大和郡山病院	12	4	-3	8	33%
(独)国立病院機構 やまと精神医療センター	11	7	±0	4	64%
民間病院 A	10	10	±0	0	100%
国保中央病院	9	5	-1	4	56%
済生会奈良病院	6	6	+4	0	100%
宇陀市立病院	4	3	±0	1	75%
民間病院 B	4	4	±0	0	100%
計	398	284	-8	114	71%

※重症対応病床を含む。 ※5月7日、南奈良総合医療センター2床増。

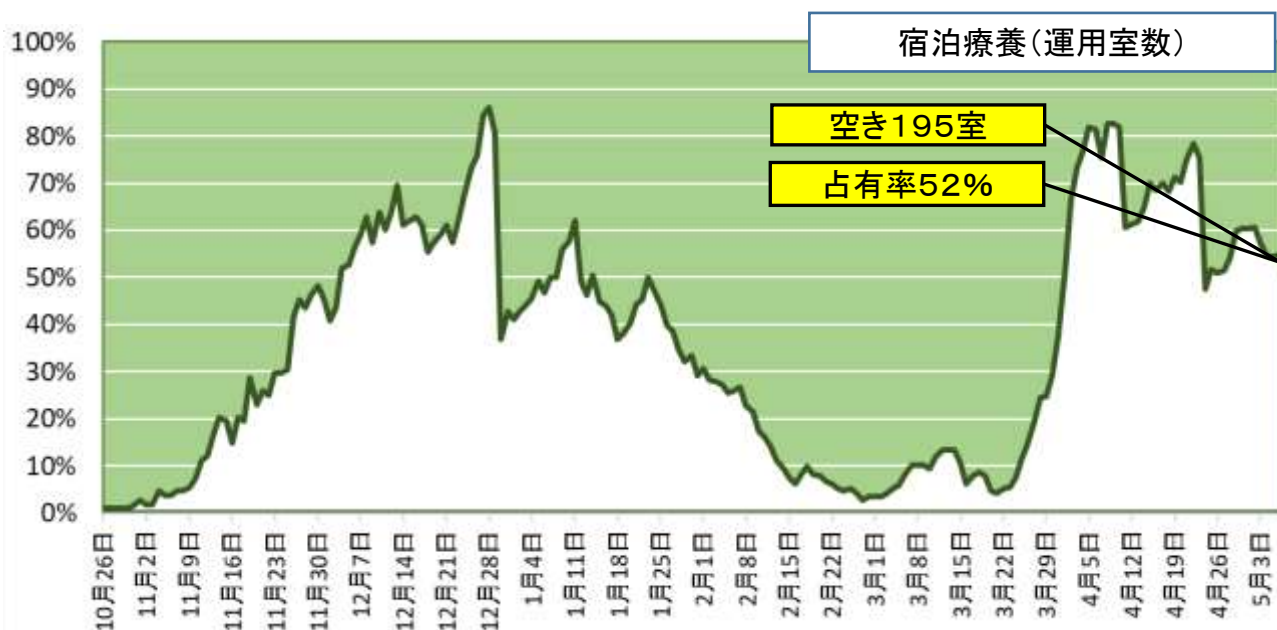
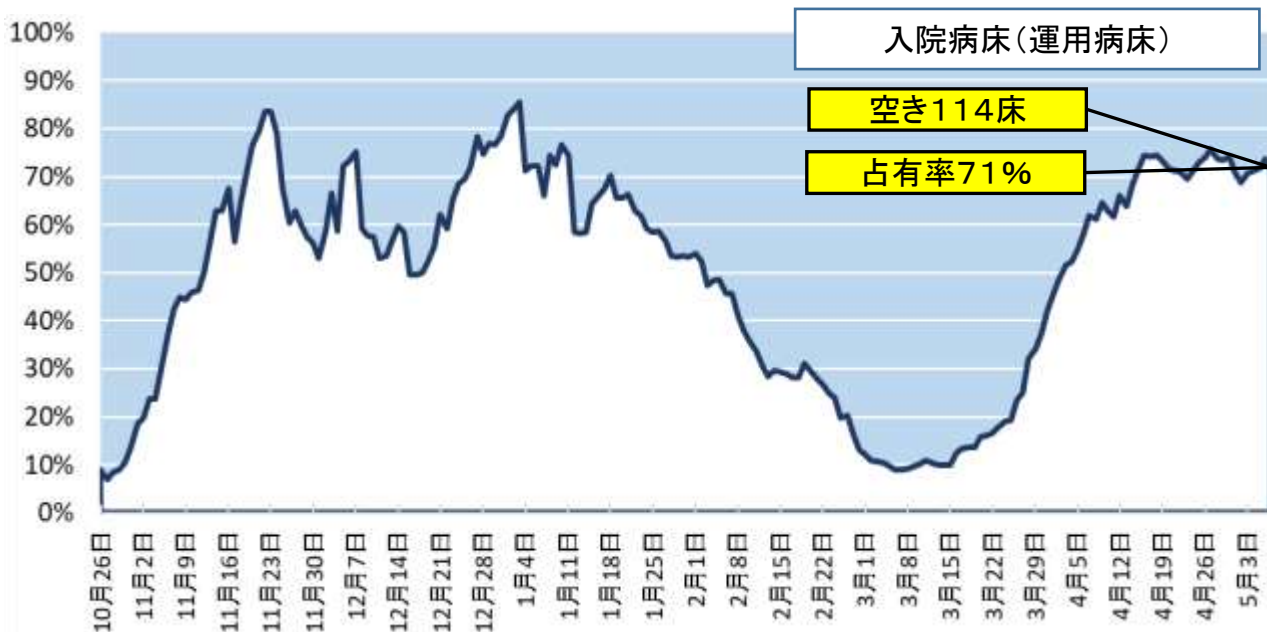
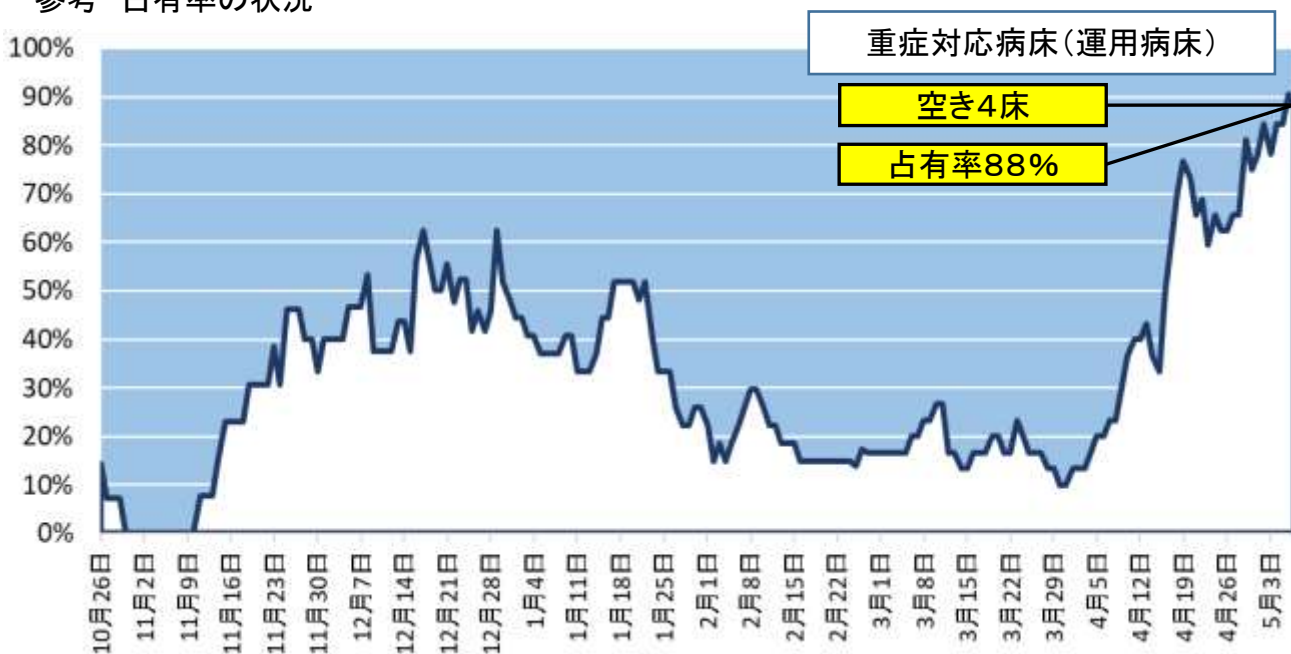
宿泊療養	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
運用室数	406	211	-11	195	52%
確保室数	424	211	-11	213	50%

※ 運用室数と確保室数の差は、設備のメンテナンスによるものです

運用室数 施設別内訳	室数 (室) E	入所室数 (室) F	対前日 (入所室数) (室)	空き室数 (室) E-F	占有率 (%) F/E
東横INN 奈良新大宮駅前	114	64	-9	50	56%
(旧)ホテルフジタ奈良	69	33	-2	36	48%
ビジネスホテル大御門	53	22	-5	31	42%
グランヴィリオホテル奈良 -和蔵-	170	92	+5	78	54%
計	406	211	-11	195	52%

社会福祉施設等 療養	療養者数 (名)	対前日 (名)
-	0	±0

参考 占有率の状況



2)感染者数の状況(午前9時時点)

5/7に新たに判明した感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	98	0	3	95

5/7現在の感染者数		重症 (名)	中等症 (名)	軽症 (無症状を含む) (名)
人数(名)	936	28	196	712
対前日(名)	-11	-1	-4	-6

5/7現在の感染者数累計		治癒	死亡 (※2)	入院・療養中 (※1)	入院・入所 待機中、 自宅療養中	現在感染者数 F (=A-B-C) (=D+E)
A		B	C	D	E	
人数(名)	6,743	5,721	86	504	432	936
対前日(名)	+98	+105	+4	-17	+6	-11

(※1) 宿泊療養では複数名が1室に入居することがあるため、使用病床数及び入所室数等の合計と一致しない場合があります

(※2) 直接の死因が新型コロナウイルス感染症と認められなかった10例を含みます

※治癒者については、疾病対策課ホームページで定期的に掲載します

3) 感染者の概要

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
6646例目	60代	男性	吉野町	自営業 (県内)	軽症	家庭内感染
6647例目	60代	女性	吉野町	自営業 (県内)	軽症	調査中
6648例目	20代	男性	五條市	会社員 (大阪府内)	軽症	調査中
6649例目	50代	男性	五條市	会社員 (県内)	軽症	調査中
6650例目	50代	女性	五條市	介護従事者 (県内)	軽症	県外感染者と接触
6651例目	50代	女性	五條市	無職	軽症	調査中
6652例目 ※大阪府重複例	10歳未満	女性	大和高田市	児童 (県内)	無症状	家庭内感染
6653例目	50代	女性	大和高田市	会社員 (県内)	軽症	県内感染者と接触
6654例目	60代	女性	橿原市	無職	軽症	調査中
6655例目	70代	女性	御所市	パートタイマー (県内)	軽症	調査中
6656例目	20代	男性	桜井市	会社員 (県内)	軽症	調査中
6657例目	20代	男性	上牧町	地方公務員 (大阪市内)	軽症	県内感染者と接触
6658例目	70代	男性	宇陀市	自営業 (県内)	軽症	調査中
6659例目	70代	女性	河合町	無職	軽症	調査中
6660例目	70代	男性	河合町	無職	軽症	県内感染者と接触
6661例目	10代	男性	三宅町	生徒 (県内)	無症状	県内感染者と接触
6662例目	50代	男性	桜井市	会社員 (大阪府内)	軽症	調査中
6663例目	70代	男性	三郷町	無職	中等症	調査中

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
6664例目	70代	女性	大和郡山市	無職	軽症	家庭内感染
6665例目	40代	男性	大和郡山市	会社員	中等症	調査中
6666例目	50代	男性	天理市	会社員	軽症	調査中
6667例目	30代	女性	天理市	会社員	軽症	調査中
6668例目	40代	男性	大和郡山市	調査中	軽症	調査中
6669例目	50代	女性	生駒市	調査中	軽症	調査中
6670例目	50代	女性	天理市	会社員	軽症	調査中
6671例目	60代	男性	大和郡山市	調査中	軽症	調査中
6672例目	40代	女性	大和郡山市	パートタイマー	軽症	家庭内感染
6673例目	40代	男性	大和郡山市	会社員 (大阪府内)	軽症	県外感染者と接触
6674例目	40代	男性	生駒市	会社員	軽症	調査中
6675例目	50代	男性	生駒市	会社員	軽症	調査中
6676例目	90代	女性	大和郡山市	調査中	軽症	調査中
6677例目	30代	女性	大和郡山市	会社員	軽症	家庭内感染
6678例目	20代	男性	生駒市	調査中	軽症	家庭内感染
6679例目	20代	女性	大和郡山市	学生	軽症	調査中
6680例目	50代	男性	生駒市	調査中	軽症	調査中

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
6681例目	30代	男性	生駒市	調査中	軽症	家庭内感染
6682例目	30代	男性	生駒市	調査中	軽症	調査中
6683例目	10歳未満	男性	生駒市	乳幼児	軽症	家庭内感染
6684例目	20代	女性	天理市	調査中	軽症	調査中
6685例目	40代	女性	大和郡山市	調査中	軽症	調査中
6686例目	40代	女性	天理市	調査中	軽症	調査中
6687例目	70代	女性	天理市	調査中	軽症	調査中
6688例目	30代	男性	高取町	会社員 (大阪府内)	軽症	調査中
6689例目	50代	男性	御所市	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
6690例目	10代	男性	橿原市	学生 (大阪府内)	軽症	調査中
6691例目	20代	女性	香芝市	学生 (大阪府内)	軽症	調査中
6692例目	30代	男性	橿原市	会社員 (県内)	軽症	調査中
6693例目	70代	男性	御所市	自営業 (県内)	軽症	調査中
6694例目	50代	男性	香芝市	自営業	軽症	調査中
6695例目	20代	女性	香芝市	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
6696例目	60代	男性	田原本町	無職	軽症	調査中

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
6697例目	40代	女性	田原本町	会社員 (県内)	軽症	調査中
6698例目	70代	女性	河合町	調査中	中等症	調査中
6699例目	10歳未満	女性	橿原市	乳幼児	軽症	家庭内感染
6700例目	20代	男性	橿原市	会社員 (県外)	軽症	調査中
6701例目	10歳未満	男性	橿原市	乳幼児	軽症	家庭内感染
6702例目	60代	女性	橿原市	自営業 (県内)	無症状	家庭内感染
6703例目	10歳未満	男性	王寺町	乳幼児	軽症	家庭内感染
6704例目	40代	女性	王寺町	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
6705例目	30代	男性	御所市	自営業 (県内)	軽症	調査中
6706例目	10代	男性	橿原市	会社員 (県内)	無症状	家庭内感染
6707例目	20代	女性	大和高田市	無職	軽症	調査中
6708例目	40代	男性	香芝市	会社員 (大阪府内)	軽症	調査中
6709例目	50代	男性	大和高田市	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
6710例目	50代	女性	橿原市	無職	軽症	調査中
6711例目	60代	男性	橿原市	自営業 (県内)	軽症	調査中
6712例目	40代	男性	橿原市	会社員 (県内)	軽症	調査中
6713例目	20代	男性	広陵町	会社員 (大阪市内)	軽症	県外感染者と接触

感染者	年代	性別	居住地	職業	現在の状態	推定感染経路
6714例目	70代	女性	御所市	パートタイマー (県内)	軽症	調査中
6715例目	80代	女性	香芝市	無職	軽症	県内感染者と接触
6716例目	20代	女性	広陵町	会社員 (大阪市内)	軽症	調査中
6717例目	50代	女性	上牧町	会社員 (大阪府内)	軽症	家庭内感染

4) 感染者数除外例の概要

感染者数除外例	居住地	年代	性別
97例目	和歌山県内	20代	女性

今後とも、迅速で正確な情報提供につとめますが、感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及びご家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。施設等への取材はご遠慮いただきますようお願いいたします。また、関係先の撮影に際し、映像や画像により個人や事業者が特定されることのないよう、ご配慮をお願いします。

○県の対応・発熱等の相談について

- 新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。
- 発熱等の症状のある方は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

身近な医療機関がない方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。
- 発熱等の症状がない場合でも、感染の不安のある方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。
- 奈良県における新型コロナウイルス感染症にかかる検査対象

★ 症状の有無にかかわらず、感染リスクのある方
(下記は例示であり、必要に応じて検査対象となります。)

- ・感染判明者との接触があった方、感染リスクのある場所に滞在された方(いずれも検査前2週間以内)
- ・勤務先や通学先、自宅などに、発熱等の有症状者がおられる方
- ・医療従事者、福祉施設従事者

■新型コロナ・発熱患者受診相談窓口(旧 帰国者・接触者相談センター)

相談窓口	電話番号	FAX番号	対応時間
奈良県庁	0742-27-1132	0742-27-8565	平日・土日祝 24時間

－ 不当な差別や偏見をなくしましょう －

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染された方々、濃厚接触者、医療従事者等やその家族、その属する施設・機関に対する不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷など、人権を侵害する事象が見受けられます。

いかなる場合でも、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。

県民のみなさまには、新型コロナウイルス感染症に関連する憶測、デマ、不確かな情報に惑わされず、人権侵害につながることをないように、行政機関の提供する正確な情報に基づき、冷静に行動していただきますようお願いいたします。

奈良県GW緊急対処宣言

感染者が急増し、危機を乗り越えるためには、県民が一丸となって感染防止対策に取り組む必要があります。

ゴールデンウィークは、感染拡大を食い止める大きなチャンスです。

- 市町村と連携して、近隣府県からの不要不急の往来を防ぐための対策を実行します
- ふだん同居していない人と、マスクを外した状態での対面は、徹底的に避けましょう
- 大阪など感染者が多い地域へは行かず、県内で、家族と過ごしましょう
- 入院病床・重症対応病床、宿泊療養施設を追加・整備します
- 入院・入所待機者、自宅療養者の健康管理を強化します
- 受け入れ病院に診療報酬制度による経営支援が行えるよう、国に働きかけます
- 早期の終息を目指して、一緒に取り組みましょう